

4月4日 歯周病予防デー。

歯科衛生士の活動によって、たくさんの方が

“歯肉のケア”に取り組み始めました!



Make Action!

“歯周病予防に多くの方が関心を持つきっかけをつくりたい”。

そんな思いから制定されたのが「4月4日歯周病予防デー」です。

自宅で、地域にある施設で、歯科医院で——。

この日、Goodbye Perioプロジェクトメンバー一人ひとりが活躍の場を探し、

いつも以上に力を入れて歯肉をケアすることの大切さを伝えました。

■活動の経緯



自分の活動をスタッフに 知ってもらえたのも大きな収穫

このイベントをして、もう一つ本当にうれしかったことがあります。それは、スタッフ全員が協力してくれたこと！先生が治療後の患者さんに「歯科衛生士にフロスのやり方を教えてもらってくださいね」とひと言添えてくれたり、受付担当が「イラスト描いてきてね」と子どもたちに声をかけてくれたり。全員が「すべての親子に歯肉ケアの大切さを実感してもらおう」を意識して行動してくれました。

子どもたちから届いたイラストを掲示板に貼るたびに、みんなニコニコ「あの子、こんな絵を描いてきてくれたんだー！」と盛り上がります。やってよかったなあと心から思いました。

歯科医院に通う親子へ

「まず私がちゃんとフロスしなきゃ」 お母さんたちがやる気に!

「歯周病予防の大切さを、もっとたくさんの患者さんに知ってほしい」そう思って久保園さんが選んだのは、「歯ぐきバイ菌のイラストコンテスト*」への参加でした。このイベントを通じて、お子さんが歯肉ケアに関心を持ち始めたのはもちろん、何よりお母さんの意識が大きく変わったといいます。

子どもたちのイラストに、 歯ぐきを守るヒーローが登場!



久保園 里美さん (福岡県/臨床歴14年)

幼稚園や保育園が近くにある当院は、親子連れの患者さんがたくさんいらっしゃいます。イラストコンテストのことを知って「これはうちに向いてる!」と思いました。スタッフと相談して来院したすべての親子にフロスの必要性を伝えることにしました。

まずはお子さんの口腔内の歯周病菌を見てもらうのですが、どのお母さんもビックリ! 「大人にはいるって予想してたけど、まさか子どもにも……」って。歯周病菌は親からうつるケースが多いこと、アメリカでは食事マナーと同じように、親が子どもにフロスの使い方を教えること。その事実を伝えるとお母さんたちは「私がちゃんとしなきゃ」とフロスの練習に真剣に取り組んでくれました。

後日、子どもたちからは続々と歯周病菌のイラストが届きました。なんと

65人中34人が描いてくれたんです! いかにも悪そうな菌が歯肉をツツンしているところ、赤い歯肉が泣いているところ、フロスが正義のヒーローになって菌をやっつけているところ。子どもたちの絵を見て、「歯肉ケアの大切さがちゃんと伝わったんだな」とうれしくなりました。



今回のイベントを通じて、歯肉ケアを提案する必要性をスタッフ全員に知らせることができました。今後は医院一丸となって歯周病予防に取り組みたいです。当院に来たすべての患者さんにフロスを習慣にしていってほしいと、次の目標ですね!

歯周病予防の方法を知ったお母さんのコメント

私自身、以前この歯医者さんで歯周病の話聞いたことがあるのですが、子どもと一緒に初めて、「歯周病菌がうつる」という話には、ベットボトルの回し飲みなど思い当たることいろいろありましたね。改善する方法を知れてよかったです。

子どもにちゃんと教えるためにも、まずは私がフロスの練習をして、口のなかをよくしたいと思います!



子どもたちが描いたイラストはどれも力作!!



*【歯ぐきバイ菌のイラストコンテスト】とは
お母さんには、子どものうちからフロスを習慣にする大切さを伝え、子どもには歯ぐきバイ菌のイラストを描いてもらう。歯周病予防への関心を高めるために事務局が企画した親子向けイベント。メンバーDHそれぞれが集めたイラストのなかから、5点の優秀作品を選ぶ。現在優秀作品を選考中。

Make Action!

予想以上の反応だったから、 “続編”をやるつもりです!



成瀬 千絵美さん
東京都 / 臨床歴4年

近所のバーに来る常連さんへ



「身近なところで何かしよう」と思い、ひらめいたのが行きつけのバー。マスターに相談してOKをもらい、スライドやフロス練習用の鏡を準備しました。いつもはただ一緒に楽しく飲んで、常連さんだから、まじめな話をするのは正直不安でしたよ。でもみんな、すごく真剣に聞いてくれたんです! その場で全額にフロスを通してくれた人もいました。手ごたえがあったので、今マスターと「続編をやるう」って相談しているところです。



自分の地域の歯科衛生士たちとつながれる! それがGoodbye Perioプロジェクトです。

「歯周病予防をもっと広めたい!」
そんな想いをを持った歯科衛生士が集まるこのプロジェクト。
地域ごとのミーティングも活発化! 一緒にイベントを企画するなかで、強い絆が生まれています。

新規メンバー登録 <http://perio.tuftclub.jp/> or 同封のお申し込み用紙で!

子育てに忙しいお母さんも 歯肉ケアの大切さを実感!



坂井 国子さん
大阪府 / 臨床歴10年

助産院に来るママたちへ



私が力を入れているのは、小さな子どもを持つお母さんへの啓蒙活動。助産院や産婦人科で歯磨き教室をしています。もちろんこの4月も!
お母さんたちに必ず話すのは「疲れているとき、寝る前に何か1つだけする」としたら迷わずフロスを選んで」ということ。「歯と歯のあいだのケアってそんなに大事なの?」と感じてもらえるからです。
家族の健康を守る大黒柱はお母さん。お母さんが歯磨きやフロスにしっかり取り組んでいれば、子どもも自然と自分のお口をケアできるようになると思います。



「あれからフロスやってるよ!」の言葉に 手ごたえを感じています



吉浦 さゆりさん
千葉県 / 臨床歴13年

マンション住民のみなさんへ



同じマンションのママ友数人に、歯周病予防の話をしたんです。すると、みんなが「こんな大事な話、私たちがけいじゃもったいないよ!」って。マンションの共有ルームを使って、他の住人の方々にも伝えることになりました。
実際に集まったのは40名! いろいろな世代の人がフロスの使い方方を一生懸命実践してくれたり、模造紙に書いた歯周病の情報を真剣に読んでくれました。後日、「あれからフロスやってるよ!」と言ってもらったのはうれしかったですね。

